

3/17 朝日

PKO日報 陸自が保存

南スーダン「廃棄」説明後も

南スーダンの国連平和維持活動(PKO)に派遣されている陸上自衛隊の日報の公開問題をめぐり、外部からの情報公開請求に対して防衛省が昨年12月に「廃棄した」として不開示を決定した後、陸自内に日報のデータが保存されていたことがわかった。

▼2面||問われる統制、12面||社説

特別監察指示

防衛相

また一部報道で、同じく不開示の決定後に陸自内でデータを消去するよう指示が出されたとも指摘され

た。こうした事態を受け、稲田朋美防衛相は16日、大臣直轄の防衛監察本部による特別防衛監察を実施すると表明。事実関係を調査する考えを示した。

防衛省は昨年7月の日報の開示を求めたフリージャーナリストに対し、同年12月に「廃棄した」として不開示を決定。その後の再調査で統合幕僚監部にデー

タがあることがわかったとして、今年2月に公開した。だが同省関係者によると、陸自内では廃棄したはずの日報データが、陸自の調査研究部門の研究本部が管理する内部サイトに保存されていた。不開示決定後、研究本部のデータベースから削除された可能性がある。

特別防衛監察

防衛施設庁(当時)幹部による官製談合事件など不祥事が相次いだことを受けて07年に防衛省内に設置された防衛監察本部が行う業務。同本部は防衛相の直轄

組織で、トップの防衛監察監は北村道夫・元福岡高検検事長。過去4回着手。15年10月には海上自衛隊の次期多用途ヘリの機種選定問題を巡って調査を開始。海上幕僚長(当時)が訓戒処分になった。

月中旬に陸自司令部でも日報データが保管されていることがわかり、これまでの説明と矛盾するため2月にデータを消去するよう指示が出されていたと報じた。

稲田氏は16日の衆院安全保障委員会で特別防衛監察の実施を指示したと説明したうえで、引責辞任を否定。菅義偉官房長官も16日の会見で「まったく考えていない」と述べ、辞任の必要はないとの認識を示した。

自衛隊制服組トップの河野克俊・統合幕僚長はこの日の記者会見で「隠蔽は組織にとって致命的な打撃になる。(監察は)深刻に受け止めなければならない」と述べた。陸自トップの岡部俊哉・陸上幕僚長は会見で「監察を受ける立場にあるのでコメントは差し控えたい」と繰り返した。

防衛相問われる統制

PKO日報問題 特別監察へ

南スーダンの国連平和維持活動（PKO）に派遣した陸上自衛隊部隊の日報をめぐる、新たな問題が浮上した。「廃棄した」と説明したデータは陸自内に保存されており、データ消去の指示があった可能性も指摘される。「森友学園」問題で窮地に立つ稲田防衛相は、自身主導で「特別防衛監察」に乗り出すと表明したが、置かれた状況は厳しさを増している。

▼1面参照

時刻時刻

つていたことが発覚した。ある陸自幹部は「日報データがいくつもの部隊に存在する」というのは容易に想像できた。なぜ12月の時点で「ない」と公表できたのか不思議だ」と語る。

日報は、南スーダンに在る陸自部隊が毎日作成し、現地の治安状況や分析などをまとめた文書だ。CRFをまともな文書だ。CRFへの報告は、衛星回線を通じて専用のネット上にある掲示板にアップロードされる形で行う。掲示板の日報は閲覧やダウンロードができ、派遣部隊とCRFの

か、師団司令部などの100人以上がアクセス権限を持っているという。

一方、陸自研究本部は過去の海外派遣の資料などを集積する「教訓センター」データベースを管理する。そこにアップロードされた資料は、より広い範囲の部隊などが閲覧可能だ。独協大学法科大学院の右崎正博教授（憲法・情報法）は「日報がないと説明しておきながら、実はあつた」と説明を交えた上、都合が悪いからデータを削除していたのならより悪

質だ。情報公開請求の制度はきちんとした文書管理が大前提なので、今回のような対応をされるも成り立たない」と批判する。

さらに、陸自内にも文書が残っていたことを踏まえ、「個人のミスというより、組織として隠蔽体質があるように見える」とも指摘した。

自衛隊制服組トップの河野克俊・統合幕僚長は16日の定例会見で、こう語った。「隠蔽は組織にとって致命的だというのが私の認識だ」

革を断行した例もある。ただ、その簡単には進みそこにはない。

16日の衆院安保委では、民進党の今井雅人氏が「監査責任があるのは当然だ。シビリアンコントロール（文民統制）が全く働いていない」と厳しく批判。同党の後藤祐一氏は「調査結果が判明すれば、大臣を辞任するか」と追った。

実際、内部部局や陸海空の自衛隊を統括する組織が同居する防衛省内では、日報問題を機に情報が入り乱れて混乱が拡大している。幹部の一人は「省内で責任をなすりつけ合う」と刺し合いが起きている」と指摘し、かえって稲田氏の統治能力不足が浮き彫りになっている格好だ。

100人超が閲覧・保存可

「逃げと取られても仕方ないかもしれないが、コメントは差し控えたい」。16日午後、陸上自衛隊トップの岡部俊哉・陸上幕僚長は、防衛省での定例会記者会見で苦渋の表情を見せた。「特別防衛監察があるから言わないというのは、逃げているのではないかと」問

示決定後も文書データが残ると、NHKがデータ消去の

「徹底的に調査し、防衛省、自衛隊に改めるべき隠蔽体質があれば、私の責任で改善したい」。16日の衆院安全保障委員会、稲田防衛相は「隠蔽」という極めて強い表現を繰り返して、自身主導して問題に切り込んでいく考えを示した。

複数の防衛省幹部による地産却問題で揺れる学校法

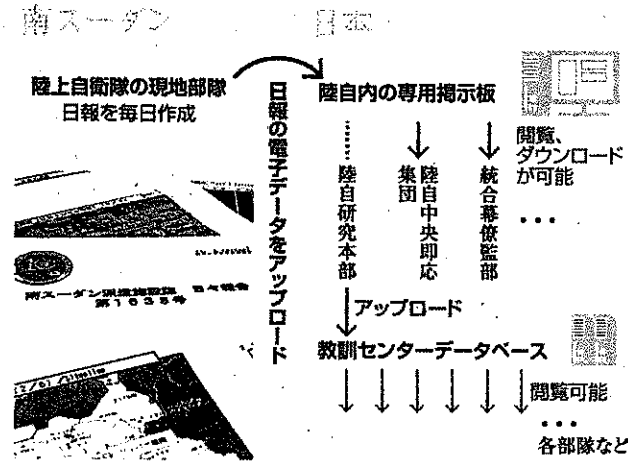
ただ世論の批判が高まる中で稲田氏をかばい続けられた防衛省・自衛隊」という対立構図を作ったという。稲田氏派「隠蔽体質」の防衛省・自衛隊」という対立構図を作ったという。稲田氏派「隠蔽体質」の防衛省・自衛隊」という対立構図を作ったという。

稲田氏主導権演出狙う

可能性を報じた15日、黒江哲郎事務次官ら幹部が深夜まで省内に残って対応を協議した。稲田氏の関与がないことを確認し、トップダウンで調査を進める方針を決めた。

背景には、国会で稲田氏の置かれた厳しい状況がある。野党はここ数日、国有地売却問題で揺れる学校法

南スーダンPKOの日報の流れ(イメージ)



南スーダンPKOと「日報」をめぐる経緯

2016年7月	南スーダンの首都ジュバで大統領派と副大統領派(当時)が「戦闘」
9月30日	フリージャーナリストが防衛省に7月の日報を開示請求
11月15日	派遣部隊に安保関連法に基づく駆けつけ警護など実施計画を閣議決定
20日	派遣部隊の先発隊が日本を出発
12月2日	日報を廃棄していたとして防衛省が不開示決定
16日	稲田防衛相が再調査指示
22日	河野大郎衆院議員が防衛省の担当者を開いた
26日	統合幕僚本部内に電子データが残っていたと判明(防衛省の説明)
2017年1月中旬	陸自司令部の複数のコンピュータに「廃棄」が保管されていたと判明(NHK報道)
27日	稲田氏に日報発見について報告
2月6日	河野氏に文書開示、7日発表
17日	防衛省が2012年の派遣開始以来の日報の電子データが統廃で発見されたと公表
2月	陸自内データを消去するよう指示?(NHK報道)
3月10日	安倍晋三首相が派遣部隊の5月末撤収を表明
15日	NHKが不開示決定を報道後データ消去の可能性を報道
16日	朝日新聞が、不開示決定も陸自調査研究部門が保管していたことを報道。稲田氏が特別防衛監察を指示したと表明

「特別防衛監察」というカードを切った稲田氏からは、反転攻勢のきっかけにしたいという思惑がにじんでいる。稲田氏派「隠蔽体質」の防衛省・自衛隊」という対立構図を作ったという。稲田氏派「隠蔽体質」の防衛省・自衛隊」という対立構図を作ったという。